



～創造と貢献～ 新しい価値を創造して、社会に貢献する



代表取締役社長

襟川 陽一

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社第4期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)の報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

国内家庭用ゲーム市場規模は前年実績を上回ったものの、ダウンロード販売や課金システム、スマートフォン向けアプリの拡大など、ゲーム業界には従来型ビジネスモデルとは異なる、新たな変革の波が押し寄せています。

このような状況において、当社グループでは経営方針「成長性と収益性の実現」のもと、さまざまな施策に取り組み、3期連続の増益を達成いたしました。営業利益・経常利益・当期純利益は経営統合以来の最高益を更新し、配当につきましても、過去最高額をお届けすることができました。

次期は、「IPの創造と展開」を経営方針に掲げ、マーケティング機能を一層強化してまいります。今年30周年を迎えました「信長の野望」をはじめとする有力な既存IPを多面展開していくとともに、グループの強みを活かして、新たに魅力的な新規IPを創造し、新しい収益の柱に育成いたします。また、着実に成果をあげておりますシリーズタイトルやコラボレーションタイトルに引き続き注力するとともに、新ハードへの対応やダウンロードビジネスの拡充、コストダウン、経営の効率化に積極的に取り組んでまいります。

これらの施策を着実に実施し、市場の変化に迅速に対応するだけでなく、新しいエンターテインメントの時代を切り開く、大きなムーブメントを当社グループから生み出し、さらなる成長性と収益性の実現を目指してまいります。

株主の皆様には、引き続き一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月
代表取締役社長 襟川 陽一

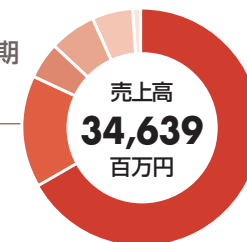
平成25年3月期の状況

当連結会計年度における世界経済は、厳しい状況が続いているものの、底堅さもみられました。わが国経済におきましては、徐々に持ち直しに向かう動きがみられ、「アベノミクス」効果による景気回復への期待感が高まっております。

ゲーム業界におきましては、2012年度の国内家庭用ゲーム市場規模が前年実績を上回るなど、堅調に推移いたしました。なかでもハード市場は、ニンテンドー3DSやPlayStation Vitaが販売を伸ばしたほか、新型ゲーム機「Wii U」の発売等により5年ぶりに前年度を上回り、市場の牽引役となりました。ソフト市場は、パッケージ分野における二極化が進み厳しい環境にある一方、ダウンロードや課金ビジネスなどの新しい収益機会が拡大しております。ソーシャルゲーム市場は、スマートフォン用アプリが拡大するなど、ビジネスモデルの変化が急速に進んでおります。

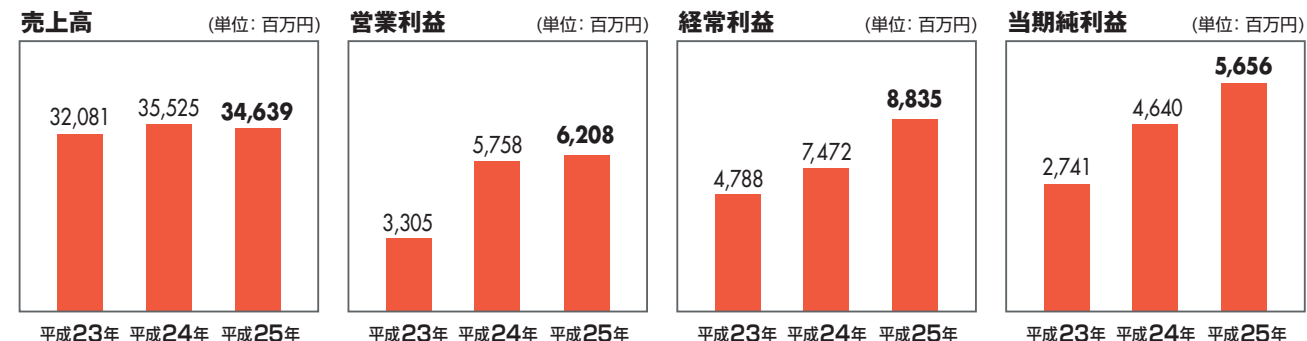
このような経営環境下において、当社では経営方針「成長性と収益性の実現」のもと、各種施策に取り組んでまいりました。

平成25年3月期



シリーズタイトルやコラボレーションビジネスのさらなる成長を図りつつ、新規IPへのチャレンジを積極的に進めたほか、コスト削減の取り組みを一層推進したことにより、収益力も向上いたしました。また、為替や株式相場の好転により、有価証券関連損益も大きく改善しております。これらにより、当社グループの当期業績は、売上高346億39百万円(前年同期比2.5%減)、営業利益62億8百万円(同7.8%増)、経常利益88億35百万円(同18.2%増)、当期純利益56億56百万円(同21.9%増)となり、大幅な増益を達成しました。なお、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、経営統合以来、3期連続して最高益を更新いたしました。

●財務ハイライト



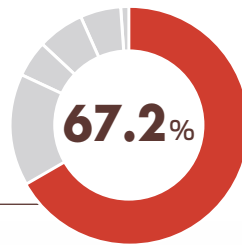
Segments Information ●セグメント別概況



株式会社コーエーテクモゲームス

ゲームソフト事業

売上高 **23,718** 百万円 営業利益 **6,229** 百万円



「真・三國無双7」(PS3用)、「DEAD OR ALIVE 5」(PS3、Xbox 360用)等のシリーズタイトルや、コラボレーションタイトル「真・北斗無双」(PS3、Xbox 360、Wii U用)が順調に推移いたしました。当社が開発を担当したタイトルでは「ワンピース 海賊無双2」(PS3、PS Vita用)が国内で、「ポケモン+ノブナガの野望」(DS用)が海外で大変好評を博しました。また、「Wii U」向けに「無双OROCHI2 Hyper」など3作品をローンチタイトルとして発売するなど、新型ハード対応を進めてまいりました。ガストタイトルでは、人気シリーズの最新作「アーシャのアトリエ ～黄昏の大地の錬金術士～」(PS3用)や、新規IPである「シェルノサーージュ 失われた星へ捧ぐ詩」(PS Vita用)が販売を伸ばし、業績に貢献いたしました。旧作のリピーター出荷やダウンロードコンテンツ販売も好調が続いております。

主力ソフトが堅調に推移したことに加え、開発コストの低減を積極的に進めたことから、大幅な増益を達成しております。



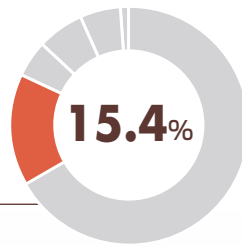
「真・北斗無双」©武論尊・原哲夫/NSP 1983 版權許諾証 KOI-021
「ワンピース 海賊無双2」販売：株式会社バンダイナムコゲームス
開発：株式会社コーエーテクモゲームス ©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション ©2013 NBGI



株式会社コーエーテクモゲームス

オンライン・モバイル事業

売上高 **5,480** 百万円 営業利益 **549** 百万円



ソーシャルゲーム事業においては、主力タイトルである「100万人の信長の野望」、「100万人の三國志」、「100万人のWinning Post」が安定した収益で推移しております。コラボレーションタイトルも積極的に展開し、「AKB48の野望」が市場の注目を集めました。スマートフォン対応としましては、「100万人のNINJA GAIDEN」、「真・三國無双SLASH」を専用タイトルとしてリリースしております。また、「100万人の三國志」を「dゲーム」にてサービス開始したほか、「mobcast」にて「100万人のWinning Post for mobcast」の配信を開始するなど、マルチプラットフォーム展開も推進いたしました。海外では、台湾・香港・マカオにおいて「のぶづがの野望」、「100万人の三國志 Special」のサービスをスタートしております。これらの結果、ソーシャルゲームの累計会員数は、国内外を合わせて900万人を突破いたしました。

オンラインゲーム事業においては、国内で「信長の野望 Online 10周年記念BOX 豪華絢爛」(Win用)を発売したほか、各タイトルとも底堅く推移いたしました。海外では、中国でサービスを開始した「大航海時代 Online」が好調な出足となっております。

なお、一部新作タイトルのサービス開始時期を延期したことや、北米でのソーシャルゲーム事業が計画未達となったことから減益となりました。



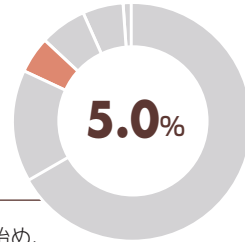
「AKB48の野望」©AKS



株式会社コーエーテクモゲームス

メディア・ライツ事業

売上高 **1,741** 百万円 営業損失 **17** 百万円



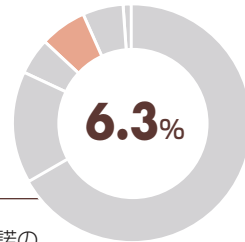
イベント事業においては、「ネオロマンス・アラモード5 with 下天の華」、「真・三國無双声優乱舞 2013春」を始め、合計11本のイベントを開催し多くのお客様にお楽しみいただきました。キャラクターグッズを始めとする関連商品も好調な売上となりました。また、ネオロマンスシリーズ最新作となる「下天の華」(PSP用)をリリースしたほか、ソーシャルゲームにおいては、「100万人の遙かなる時空の中で」を配信いたしました。なお、新作タイトルの発売を期末に延期したことにより、セグメント損失が発生いたしました。



株式会社コーエーテクモウェーブ

スロット・パチンコ事業

売上高 **2,195** 百万円 営業利益 **642** 百万円



パチンコ機「CR NINJA GAIDEN 2」など、合計6機種がリリースとなりました。パチンコ・パチスロ機への著作権許諾の継続的な実施に加え、液晶ソフト受託開発も堅調に推移したことから、増収増益を達成いたしました。

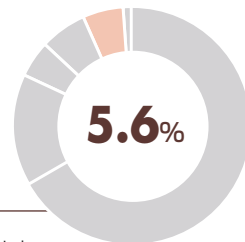
©Okumurayuuki Corporation



株式会社コーエーテクモウェーブ

アミューズメント施設運営事業

売上高 **1,932** 百万円 営業利益 **157** 百万円



当社グループIPを活用した店頭でのイベント実施や積極的なゲーム機械導入により既存店売上高は底堅い動きとなりました。3月には埼玉県越谷市に「テクモピア南越谷店」をオープンいたしました。業務効率の向上もあり、増収増益を達成いたしました。

パートナー各社の商品 (株式会社コーエーテクモネット)

アイディアファクトリー株式会社の恋愛アドベンチャーゲーム「DIABOLIK LOVERS(ディアボリック ラヴァーズ)」,女性向け恋愛アドベンチャーゲーム「十鬼の絆(ときのきずな)」や、株式会社アートムーヴ(ブランド名:QuinRose)の恋愛アドベンチャーゲーム「ダイヤの国のアリス〜Wonderful Wonder World〜」、株式会社アクワイアの学園ロールプレイングゲーム「新・剣と魔法と学園モノ。刻の学園」など、パートナー各社のタイトルが好評を博しました。

コンサルティング営業を強化し、パートナー各社と協力して、今後もお客様に良質のゲームを提供してまいります。



超ワールドサッカー (CWS Brains株式会社)

CWS Brains株式会社は、サッカーファン向け最新情報を提供する人気サイト「超ワールドサッカー」のスマートフォン展開を開始、早くもその市場において日本最大級のサッカー情報サイトへと進化しています。

また、「超ワールドサッカー」が全面サポートしているソーシャルゲーム、「100万人の超ワールドサッカー」を「GREE」、「mobcast」で好評サービス中です。



CSR

私たちは、コーエーテクモグループの精神「創造と貢献」を実践し、事業活動の発展を通じてだけでなく、さまざまなCSR活動により社会に貢献していくことが重要であると考えています。

この方針のもと、国内外で発生した災害に対して義援金・救援金などの支援活動を積極的に行い、日本赤十字社や中央共同募金会から感謝状を受領するなど、その貢献が認められています。

また、日本シミュレーション&ゲーミング学会(JASAG)や科学技術融合振興財団(FOST)への助成を通じて、シミュレーションやゲーミングを教育・学術分野に応用し、科学技術と人間社会・文化が融合した真に豊かな世界を創造するための活動への支援を行っています。

今後もエンターテインメント企業として、学術・文化の発展、地域貢献など、社会への貢献に努めてまいります。



感謝状を受け取る襟川会長(右)と
中央共同募金会事務局長 島村糸子氏

●連結貸借対照表

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	平成24年3月31日	平成25年3月31日
資産の部		
流動資産	25,836	31,416
現金及び預金	6,742	13,851
受取手形及び売掛金	11,750	9,302
有価証券	3,930	3,818
商品及び製品	213	303
仕掛品	316	143
原材料及び貯蔵品	98	107
繰延税金資産	528	923
その他	2,451	2,997
貸倒引当金	△196	△32
固定資産	54,909	63,594
有形固定資産	14,387	14,200
無形固定資産	4,312	2,722
のれん	3,738	2,333
その他	573	388
投資その他の資産	36,210	46,671
投資有価証券	33,752	45,339
更生債権等	23	5
敷金及び保証金	797	669
繰延税金資産	1,435	493
その他	223	169
貸倒引当金	△23	△5
資産合計	80,746	95,010

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	平成24年3月31日	平成25年3月31日
負債の部		
流動負債	9,220	12,303
支払手形及び買掛金	2,421	4,052
未払金	1,458	2,032
未払法人税等	1,203	2,465
賞与引当金	683	733
役員賞与引当金	91	91
返品調整引当金	58	41
売上値引引当金	425	314
ポイント引当金	12	12
繰延税金負債	251	—
その他	2,612	2,560
固定負債	1,112	1,084
退職給付引当金	560	559
繰延税金負債	19	41
その他	532	482
負債合計	10,332	13,387
純資産の部		
株主資本	77,934	82,392
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	24,640	25,699
利益剰余金	40,662	43,978
自己株式	△2,368	△2,285
その他の包括利益累計額	△7,558	△820
その他有価証券評価差額金	△3,877	2,073
土地再評価差額金	△3,100	△3,100
為替換算調整勘定	△580	207
新株予約権	38	50
純資産合計	70,414	81,623
負債純資産合計	80,746	95,010

●連結損益計算書

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	自 平成23年4月 1 日 至 平成24年3月31日	自 平成24年4月 1 日 至 平成25年3月31日
売上高	35,525	34,639
売上原価	22,036	20,699
売上総利益	13,489	13,939
販売費及び一般管理費	7,730	7,731
営業利益	5,758	6,208
営業外収益	3,052	3,553
受取利息	1,870	1,701
受取配当金	528	549
投資有価証券売却益	305	700
為替差益	—	277
その他	348	325
営業外費用	1,338	926
有価証券評価損	610	276
有価証券償還損	538	588
為替差損	125	—
その他	64	61
経常利益	7,472	8,835
特別利益	74	—
新株予約権戻入益	74	—
特別損失	66	55
買取請求に伴う法定利息	66	—
退職給付費用	—	※55
税金等調整前当期純利益	7,479	8,779
法人税、住民税及び事業税	1,901	3,114
法人税等調整額	937	8
少数株主損益調整前当期純利益	4,640	5,656
当期純利益	4,640	5,656

(単位：百万円)

●連結包括利益計算書

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	自 平成23年4月 1 日 至 平成24年3月31日	自 平成24年4月 1 日 至 平成25年3月31日
少数株主損益調整前当期純利益	4,640	5,656
その他包括利益	△1,822	6,738
その他有価証券評価差額金	△2,003	5,950
土地再評価差額金	1	—
為替換算調整勘定	179	788
包括利益	2,818	12,395
親会社株主に係る包括利益	2,818	12,395

(単位：百万円)

●連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	自 平成23年4月 1 日 至 平成24年3月31日	自 平成24年4月 1 日 至 平成25年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	7,115	12,170
投資活動による キャッシュ・フロー	△8,970	△2,079
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,392	△1,994
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△3	440
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△4,251	8,537
現金及び現金同等物の 期首残高	10,779	6,528
連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額（△は減少）	—	42
現金及び現金同等物の 期末残高	6,528	15,107

※当社及び一部の国内連結子会社は、当社グループにおける人事諸制度の一本化を目的として、平成25年3月を制度改訂日として退職給付制度の統合を行っております。これに伴って、一部の国内連結子会社は、原則法に基づく退職給付債務に関する数理計算を行うことができるようになったため、退職給付債務の計算方法を簡便法から原則法に変更しております。この変更により、退職給付債務について計算した簡便法と原則法の差額55百万円を退職給付費用として特別損失に計上しております。

●連結株主資本等変動計算書（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日現在）

（単位：百万円）

科 目	株 主 資 本				
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自 己 株 式	株主資本合計
平成24年4月1日期首残高	15,000	24,640	40,662	△2,368	77,934
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△2,341		△2,341
当期純利益			5,656		5,656
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		△12		85	72
自己株式処分差損益の調整		1,058			1,058
連結子会社の合併による増加			13		13
利益剰余金から資本剰余金への振替		12	△12		—
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）					—
連結会計年度中の変動額合計	—	1,058	3,316	83	4,458
平成25年3月31日期末残高	15,000	25,699	43,978	△2,285	82,392

科 目	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計		
平成24年4月1日期首残高	△3,877	△3,100	△580	△7,558	38	70,414
連結会計年度中の変動額						
剰余金の配当						△2,341
当期純利益						5,656
自己株式の取得						△1
自己株式の処分						72
自己株式処分差損益の調整						1,058
連結子会社の合併による増加						13
利益剰余金から資本剰余金への振替						—
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）	5,950	—	788	6,738	11	6,750
連結会計年度中の変動額合計	5,950	—	788	6,738	11	11,209
平成25年3月31日期末残高	2,073	△3,100	207	△820	50	81,623

（平成25年3月31日現在）

●会社概要

商 号	コーエーテックモホールディングス株式会社 （英文名称 TECMO KOEI HOLDINGS CO., LTD.）
資 本 金	150億円
本店所在地	神奈川県横浜市港北区箕輪町一丁目18番12号
設立年月日	平成21年4月1日
従業員数	単独 70名（※1） 連結 1,413名（※2）

※1 従業員数は就業人数（社外への出向者を除き、当社への出向者を含む）です。
※2 従業員数は就業人数（当社グループ外への出向者を除き、当社グループへの出向者を含む）です。

役 員 （平成25年6月25日現在）

代表取締役会長	襟川 恵子	常 勤 監 査 役	森島 悟
代表取締役社長	襟川 陽一	監査役（社外）	山本 千臣
取 締 役	鯉沼 久史	監査役（社外）	北村 俊和
取 締 役	阪口 一芳	専務執行役員CFO	浅野健二郎
取 締 役	小林伸太郎	執 行 役 員	原 毅
取 締 役 顧 問	柿原 康晴	執 行 役 員	保坂 正敏
		執 行 役 員	谷口 英徳

グループ会社

- 国内グループ会社
- 株式会社コーエーテックモゲームス
株式会社コーエーテックモウェーブ
株式会社コーエーテックモネット
CWS Brains株式会社
株式会社ガスト
株式会社コーエーテックモキャピタル
株式会社コーエーテックモリブ
株式会社コーエーテックモミュージック
株式会社コーエーテックモアド
- 海外グループ会社
- TECMO KOEI AMERICA Corporation（アメリカ・カリフォルニア州）
TECMO KOEI EUROPE LIMITED（イギリス・ハートフォードシャー州）
台湾光栄特庫摩股份有限公司（台湾・台北）
天津光栄特庫摩軟件有限公司（中国・天津）
北京光栄特庫摩軟件有限公司（中国・北京）
TECMO KOEI SINGAPORE Pte.Ltd.（シンガポール）
TECMO KOEI CANADA Inc.（カナダ・トロント）
TECMO KOEI SOFTWARE VIETNAM CO., LTD.（ベトナム・ハノイ）

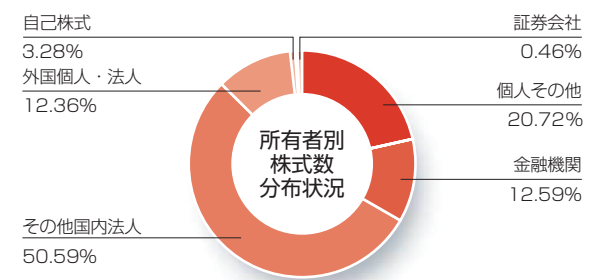
●株式の状況

発行可能株式総数・・・・・・・・・・・・ 350,000,000株
発行済株式総数・・・・・・・・・・・・ 89,769,479株
株 主 数・・・・・・・・・・・・ 19,276名
大 株 主（上位10名）

株 主 名	持 株 数	持株比率
	千株	%
株式会社光優	26,991	31.09
環境科学株式会社	6,502	7.49
EUROPEAN KOYU CORPORATION B.V.	5,730	6.60
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	4,101	4.72
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社（信託口）	3,630	4.18
株式会社リズムスター	3,383	3.90
株式会社シーインザサン	3,383	3.90
襟川 陽一	1,864	2.15
襟川 恵子	1,806	2.08
BNYML - NON TREATY ACCOUNT	1,312	1.51

（注）

1. 当社は、自己株式2,946,156株を保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月下旬
配当金受領株主確定日 期末配当金：3月31日
取締役会決議により中間配当を実施する場合は
中間配当金：9月30日
証券コード 3635（東証一部）
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
同連絡先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話：0120-782-031（フリーダイヤル）
同取次窓口 三井住友信託銀行株式会社 全国本支店
（コンサルティングオフィス・コンサルプラザ・i-Stationを除く）
公告の方法 電子公告により行います。
ただし、電子公告によることができない事故、
その他のやむを得ない事由が生じたときは、
日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数 100株

■『復興特別所得税』に関するご案内

2013年1月1日より『東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法』（平成23年法律第117号）が施行され、2013年1月1日から2037年12月31日までの間（25年間）に生じる所得には、その所得税額の2.1%が『復興特別所得税』として課税されることとなりました。株式等の配当金等も『復興特別所得税』の対象となり、源泉所得税を徴収する際、復興特別所得税が併せて徴収されます。

【上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について】

配当等の支払開始日		2013年1月1日～2013年12月31日		2014年1月1日～2037年12月31日		2038年1月1日～	
上場株式等の配当等の税率		10.147%		20.315%		20%	
		内 訳	所得税（※1）+復興特別所得税7.147%（※2）	内 訳	所得税+復興特別所得税15.315%（※3）	内 訳	所得税15%
			住民税（※1）3%		住民税5%		住民税 5%

- （※1） 上場株式等の配当等に係る所得税率・地方税率は、2013年12月31日までは租税特別措置法により所得税7%・住民税3%に軽減されています。（本則：所得税15%/住民税5%）
（※2） 当該期間の所得税率（軽減税率） 7% + 復興特別所得税に係る追加分0.147%（ 7%×復興特別所得税率2.1%）
（※3） 当該期間の所得税率（本則税率）15% + 復興特別所得税に係る追加分0.315%（ 15%×復興特別所得税率2.1%）
（※4） 本情報は2013年1月時点の情報をもとにしています。

■株主優待のご案内

当社は、株主の皆様からの日ごろのご支援に感謝の意を表するとともに、当社グループの事業へのご理解を深めていただき、より多くの株主様に当社株式を中長期的に保有していただくことを目的とし、株主優待制度を実施しております。

対象株主様：毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された当社株式1単元（100株）以上保有されている株主様
ご優待内容：当社選定の商品を優待価格（40%割引）にてご提供

	保有株式数	割引適用個数
当社が選定した新作商品	100株以上	一律1個
	100株以上1,000株未満	3個まで
当社が選定した発売済み商品	1,000株以上5,000株未満	5個まで
	5,000株以上	10個まで

※当社株主総会開催日以降発売の商品を新作商品といたします

ご優待期間：新作商品/当社株主総会翌日から新作商品の実際発売月翌月末日まで
発売済み商品/当社株主総会翌日から7月末日日まで
実施回数：毎年3月31日を基準日として年1回実施

コーエーテックモホールディングス株式会社 神奈川県横浜市港北区箕輪町一丁目18番12号
<http://www.koeitecmo.co.jp/>